

次回のくれよんは12月の発行予定です。おたのしみに～！(*^_^*)♪

『地域福祉講演会』開催のお知らせ

社会的孤立や社会的排除など人々の直面している課題は複雑化している中、居場所づくりの取り組みは、人と人のつながり、個人と地域がつながるきっかけの一つとして広がっています。

そこで、今回は地域に密着した居場所の運営や体操等のDVDも多く作成されている、ごぼう先生こと築瀬寛氏をお招きし、地域における活動事例や取り組みの工夫等、実践を交えてご講演いただきます。

日時:令和元年11月5日(火)

18:30~20:00

(開場 18:00)

場所:アルカスSASEBO

(4階中ホール)

講師:築瀬 寛 氏 (ごぼう先生)

※参加費無料(事前の申込みも不要です)

【詳しい問い合わせ先】

佐世保市社会福祉協議会

TEL(0956)23-3174

担当:山本(な)



ごぼう先生

あなたらしさで広がるボランティア くれよん KUREYON



2019年度 第4号
令和元年10月1日

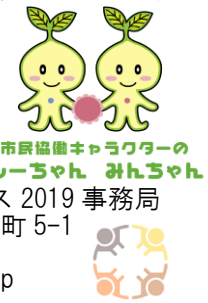
『市民協働交流月間2019』 させぼコミュニティフェス2019交流会

市民協働とは、市民と市民、市民と行政(市役所等)が対等・平等なパートナーとして、まちづくりに一緒に取り組むものです。

佐世保市内を拠点に活動するNPO法人や公益活動団体、ボランティア団体が、交流会やステージによる活動発表、ブース出展、パネル展を行います。お気軽にご参加ください!

2019年
10月22日(火・祝)
11:00~15:30

アルカス SASEBO
1階 イベントホール



【問い合わせ先】
させぼコミュニティフェス2019事務局
〒857-0864 佐世保市戸尾町5-1
電話/FAX: 0956-23-6070
Mail: info@sasebo-npo.jp

- 交流会 "気軽"に"知る"場
- ステージ発表 演奏あり 踊りあり
- ブース出展 各団体の個性いろいろ
- パネル展 日頃の団体活動をPR

この夏も沢山のボランティア の皆さんが活躍されました!

活動写真を少しだけご紹介します!



夏休みの学生さんが多く活動されました。

ボラセン情報局

佐世保市総合防災訓練で「災害ボランティアセンター設置運営訓練」が行われました!

令和元年9月1日、陸上自衛隊相浦駐屯地にて、佐世保市総合防災訓練が開催されました。この訓練は、災害が発生した場合の対応力の向上と関係機関の連携強化を目的に、自衛隊、警察署、米海軍基地、ガス・電力会社、社会福祉協議会など49団体・約1200人が参加して毎年実施され様々な訓練が行われます。

佐世保市社会福祉協議会では、災害時に“災害ボランティアセンター”を開設し、被災された方のニーズ(困りごと)の把握・整理を行うとともに、ボランティア活動を希望する個人や団体の受け入れ及びマッチング活動を行うための、「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を行いました。

活動後は、参加者より災害ボランティアセンター運営での改善点などの意見が出され、今後活かされる訓練になりました。



災害ボランティアの受付と、活動の時の注意事項などを説明する訓練の様子。



あなたの町の募金は、
あなたの町のために使われています。

あなたの町を良くするしくみ
赤い羽根共同募金

■特集■

あかはね 赤い羽根 きょうどうぼきん 共同募金

募金は誰でもできるボランティア



赤い羽根共同募金シンボルキャラクター
“愛ちゃん”と“希望くん”

佐世保市ボランティアセンター(社会福祉協議会)
〒857-0864 佐世保市戸尾町5-1 させぼ市民活動交流プラザ1階
TEL: 0956-23-3905 / FAX: 0956-42-0102 E-mail: kureyon@sasebo-shakyo.or.jp
時間/10:00~18:45(火~土) 10:00~17:00(日)
休館日/月曜・祝日・年末年始・プラザの休館日



「くれよん」はボランティアの方々のご協力によって発行されています。

佐世保のまちをよくする活動

赤い羽根共同募金が今年も始まります



「何かボランティア活動に参加したいけれど、体力に自信がない」
「ボランティア活動に興味があるけれど、時間がない」という方は、
少なくないと思います。
そのような方でも地域福祉に関わり、活動に参加できるボラン
ティア活動の一つが“募金”です。

今年も10月1日～12月31日に全国一斉に『赤い羽根共同募金』が始まります。

『赤い羽根共同募金』は、1947（昭和22）年の“国民たすけあい運動”として始まった募金活動で、当時は戦争で家や家族を失った子どもたちのために役立てられました。

現在も自治会等や民生委員・児童委員、企業、団体をはじめ、多くの住民の皆さまのご協力のもと実施され、皆さまからの善意は地域の様々な福祉に役立てられています。

佐世保市内でいただいた募金は、佐世保市で使われています

佐世保市で集められた募金のおおよそ半分は佐世保市社会福祉協議会を通じて佐世保市の社会福祉に、残り半分は長崎県全体の福祉施設の修繕費、ボランティアやNPOの活動費として使われています。



皆さまの善意が、地域福祉やボランティア活動支援になっています（一部ご紹介）

- 災害ボランティア活動の推進
- いきいきサロン活動の推進
- ふくし教育の推進
- ホームレス支援
- 子ども食堂への助成
- 食事サービスボランティアグループへの助成 など



当ボランティア情報紙「くれよん」も、赤い羽根共同募金の分配を受けて作成しています！



★ちょこっと豆知識★

じつは、日本で初めての「共同募金活動」は1921（大正10）年に長崎県で行われました。当時の金額として37,319円3銭の募金が集まったそうです。

赤い羽根は災害に伴うボランティア・NPO活動サポート募金も行っています

令和元年8月に発生した大雨災害では、九州北部を中心に河川の氾濫や洪水等の被害が発生しました。

現在、佐賀県・福岡県において複数の災害ボランティアセンターが開設されて、復旧・復興に係るボランティア活動が活発に行われています。

中央共同募金会では、こうした災害支援活動を応援する“支える人を支える”活動支援金「8月九州豪雨災害に伴うボランティア・NPO活動サポート募金」の募集も行っています。詳しくは『災害ボラサポ・8月九州豪雨』でウェブサイト検索にて、ご覧ください。



共同募金を支えるのはボランティアの力です！

福祉を身近に感じる事が少なかった時代、人々は『赤い羽根』を通して社会に恵まれない人々がいることに思いを寄せ、援護の必要な人に使われていることを願って共同募金に寄付をしました。

現在も、民間の福祉財源として、社会的孤立や生活困窮等の様々な福祉課題の解決に向けた地域福祉活動を支えています。

“寄付する人、寄付を募る人もボランティア”であることを心に持ち、『佐世保のまちをよくする活動』である共同募金への皆さまの温かいご理解とご協力を今年もよろしくお願いいたします。



ボランティア入門講座開催のお知らせ

ボランティアに興味があるけど、何をしたいのかわからない、どんなボランティアがあるか知りたい。そんな方を対象に、ボランティアに関する基礎知識や心構えを学ぶ講座を行います。

日時：令和元年10月5日（土）10：00～12：00

場所：大野地区公民館（田原町13-29）
【最寄バス停：左石駅前】

内容：ボランティア活動って何？
活動のコツ、心構え
ボランティア活動保険について

対象：ボランティア活動に興味のある方
（受講料は無料です）

※お問い合わせ、お申し込みは主催のボランティアセンターまでお願いします。



児童センターからのお知らせ 「第20回 羽ばたけ児童センターまつり」が開催されます！

幼児や小学生向けの楽しい遊びが盛りだくさん！

軽食の販売もあります。（軽食コーナー以外は無料）

日時：令和元年11月17日（日）
10:00～15:00

場所：広田児童センター及び
広田地区公民館（併設）

主催：佐世保市社会福祉協議会

【問い合わせ先】

児童センターまつり実行委員会
TEL:25-3785（春日児童センターまで）



ボランティアフォローアップ研修を開催しました

令和元年7月18日、させぼ市民活動交流プラザにて『ボランティアフォローアップ研修』を開催し、団体・個人ボランティアの皆さん28名が参加されました。

講師には佐世保市中央消防署の方を迎え“いざという時に役立つ応急処置”をテーマに、夏場に多い熱中症の予防や応急処置、食べ物などがのどに詰まる窒息の対処方法、心肺蘇生とAED使用手順の講話が行われました。

講話の後は人形を使用して、胸骨圧迫（心臓マッサージ）と実際のAEDの機械を使った実技講習を行いました。

参加者からは「改めて熱中症対策の、効果的な方法を学べてよかったです」「心臓マッサージを実際に行い、胸骨の硬さを知りました。この講座を活かして、いざという時に落ち着いて行動できるようになればと思います」とのご感想をいただきました。

ボランティアセンターでは、今後もボランティア活動で役立つ研修を予定しております。



講話と実技教習の様子